



市議会議員  
上田由美子  
☎ 68-2106  
Fax 68-2146



参議院議員  
井上さとし



前衆院議員  
藤野保史

# 日本共産党女性後援会が宣伝



日本共産党女性後援会の皆さんが、北陸信越地方でいっせい宣伝をしました。呉西地域の女性後援会は5月14日、小矢部市のピアゴ前、アルビスいすゞ駅店前、小矢部店前で行いました。

## 健康保険証がマイナンバーカードになると

上田由美子市議は岸田政権がマイナンバーカードを健康保険証にすることの危険性を訴えました。マイナンバーカードに他人の医療情報(氏名や生年月日、病歴など)が紐付けされていたニュースに衝撃が走っています。情報漏洩の危険が現実となりました。国民皆保険が崩される恐れもあります。現在は健康保険証は申請しなくても役所や健康保険組合から必ず届けられています。この法律が成立したら、マイナンバーカードを持たない人は自ら保険証に代わる資格確認書を

毎年交付申請しなければ保険適用がされなくなります。マイナンバーカードも5年に1回、自ら交付手続きをしなければならず、手続きを忘れたら保険証として使えません。上田市議は「みんなで声を上げてこんなことはやめさせましょう」と呼びかけました。



## 大軍拡やめさせよう

日本共産党呉西地区女性部長の高瀬あつ子さんは、岸田政権と自民・公明・維新・国民民主による大軍拡と原発推進法など悪法強行の動きを批判しました。「大軍拡のために医療や年金の積立金を軍事費にまわすなどとてもな

い」と告発しました。原発推進法についても、福島原発事故でいまだに8万人もふるさとに帰れないひとが残されているし、最近でも珠洲市で震度6強の地震が襲ってきており、「原発推進は絶対に許されません」と訴えました。

## 医療、年金の積立金が軍事費に

高瀬あつこ  
党女性部長が訴え

## 総務産建委が視察

### スマート農業研修 市議会議員 上田由美子

総務産業建設常任委員会で、5月10日に茨城県つくば市の農研機構「NARO」食と農の科学館を見学し、「スマート農業」について研修を受けました。

### 農研機構

### 農業と食品産業のための研究開発

農研機構は、2022年4月1日現在、役員



## スマート農業 ロボット、AIなど先端技術を活用

「スマート農業」とは、ロボット、AIなどの先端技術を活用する農業です。水田の水管理を遠隔・自動制御する圃場水管理システムの実物が展示してありました(写真)。実証実験では水管理時間が7〜9割削減されました。1台15万円とのことですが、基地局を作るなど他にも多くの費用がかかります。(農研機構ホームページのスマート農業実証プロジェクトで、実証終了地区のデータは成果集として公開されています。)

## ★ 大規模経営体に 限られる問題も

農業センサス(全数調査)によると、基幹的農業従事者数は、2010年205万人から、20年136万人に減少しています。この内、60歳代以下が10年110万人から、20年67万人へと減少です。現状の労働生産性のままでは食料生産力が低下するため、「スマート農業」技術を発展させて生産拡大を図るとしています。

食料自給率向上と食料安全保障の観点からも大切ですが、「スマート農業」の利用が大規模な経営体に限られることが問題です。

## ★ 有機農業に役立つ 研究も求められる

小規模な有機農業などを始めようとする若い世代が少しずつ増えています。有機農業の技術研究 開発や小規模な農家に役立つ技術や補助金制度も求められています。